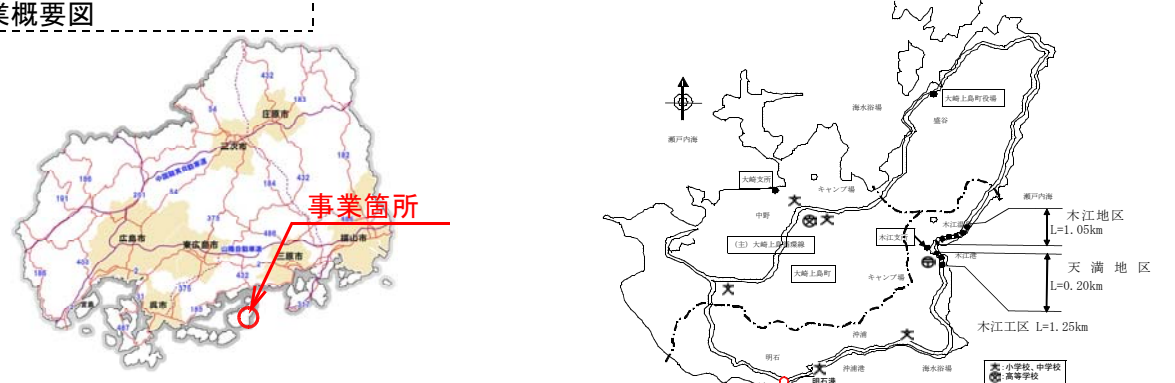


再評価結果（平成21年度事業継続箇所）

担当課：中国地方整備局地域道路課
担当課長名：内海 一幸

事業名 主要地方道 <small>おおさかみしまじゆんかん</small> 大崎上島循環線（木江工区） <small>とよたぐんおおさかみしまちようきのえ</small>	事業区分 地方道	事業主体 広島県			
起終点 自：広島県豊田郡大崎上島町木江 至：広島県豊田郡大崎上島町木江	延長 1.3 km				
事業概要 本路線は、大崎上島を循環する幹線道路である。本事業は、木江地区の円滑な交通と歩行者の安全を確保するため、延長1.3kmの2車線道路の整備である。					
H11年度事業化	H 年度都市計画決定 (H 年度変更)	H11年度用地着手	H12年度工事着手		
全体事業費	28億円	事業進捗率	70%	供用済延長	1.1km
計画交通量	400～1,200台/日				
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体)	総費用 (残事業/事業全体)	総便益 (残事業/事業全体)	基準年 平成20年	
	(残事業)	6.6/34億円 事業費：5.6/33億円 維持管理費：1.0/1.0億円	38/38億円 走行時間短縮便益：37/37億円 走行経費減少便益：0.82/0.82億円 交通事故減少便益：0.04/0.04億円		
感度分析の結果 残事業について感度分析を実施 交通量変動：B/C=8.3(交通量+10%) B/C=4.1(交通量-10%) 事業費変動：B/C=5.4(事業費+10%) B/C=6.4(事業費-10%)					
事業の効果等 ○現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する。(木江支所⇄明石港) ○農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上する。(みかん・レモン) ○緊急輸送道路の構築 他5項目に該当					
関係する地方公共団体等の意見 当該工区は、現道沿いに家屋が密集し幅員が幅小で緊急車両の通行も困難な状況であるため、本工区は大崎上島三町の合併建設計画の重点的に行う事業に位置づけられている。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 平成15年4月に大崎町、東野町、木江町が合併し、大崎上島町となる。					
事業の進捗状況、残事業の内容等 平成19年度末の進捗率は70%で、平成21年2月末に木江地区L=1.1kmが完成。引続き天満地区の工事を推進する。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 用地交渉の難航、公図混乱等により用地取得に時間を要した。引続き、天満地区の工事を推進し、早期の完成を目指す。					
施設の構造や工法の変更等 発生残土について、他の公共工事より流用することによりコスト削減を図った。					
対応方針		事業継続			
対応方針決定の理由		以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。			
事業概要図 					

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。